

夏
シーズン
到来!

石 鎚 社 報

発行所

〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地

石鎚神社・石鎚本教
電話 (0897) 55-4044

7・8月号



道

「神様事に、しすぎ、は無い。」とある方が、ポツリとおっしゃいました。

世情により縮小されていた様々なことが回復して一年間、ともすれば縮小される前の、当初の心構えを忘れようとしてはいないか。そんな思いがしています。

祝詞の中に「かしこみかしこみ、も、もうす」という詞があります。この「も」は、こんなにも、こんなにも、恐れ敬つても、まだ足りないのではないのでしょうか、という自省の詞です。

自省を繰り返し、今、行うべきことを行う。そして次の実行へ。それが大きな歩みと存じます。

人生での後悔は、そのほとんどが、無意味な先送りから生まれています。
武智。

成就社役行者尊例大祭お火焚き祈願祭 齋行

去る四月三十日、正午より中宮成就社にて役行者尊例大祭並びにお火焚き祈願祭が執り行われました。



当日の朝、地域一帯は突如の停電に見舞われ、ロープウェイ運行も休止になり、多くの方々が登山を余儀なく足止めとなる状況だったのですが、上浮穴崇敬組合長坪内様をはじめ三名様のご参列をいただき、祭儀が斎行されましたことに感謝申し上げます。

祭儀は先ず成就社本殿を拝礼した後、見返り遙拝殿へと進み、参列者一同で霊峰石鎚山を遙拝し祭典が斎行されました。そして翌日の頂上社開門祭を控えて武智宮司より山の安全と感謝を祝詞にて述べられ玉串を奉り拝礼されました。



続いて見返り遙拝殿前にて斎行されたお火焚き祈願祭では、十亀権宮司の手により全国各地の祈願木を一つずつ読上げ、また、参列

者と共に田窪芳弘権禰宜の先導で、大祓詞斉唱・般若心経誦願い成就しますようお願い一つに祈願申し上げます。祭典納めには祈念いたしました役行者守を参列の皆様にご呈致しました。



次年の役行者尊例大祭・お火焚き祈願祭も皆様の御参列を心よりお待ち申し上げます。成就社に鎮座されております役行者尊の神威益々の発揚と、全国各地の信徒の皆様のご多幸と、常日頃より御配慮いただいております。

ます関係者各位に感謝申し上げます報告と致します。

記 出仕 瀧澤



五月十八・十九日
令和六年度 第十二回
『御神像奉持習礼』
しゅらい
(頂上社於)



去る、五月十八日(土)・十九日(日)頂上社に於いて十九名が参加して御神像奉持の習礼(予行演習)と今回は、下りの鎖に足置き場の金具(トライアングルの様な形)を設置する作業も合せて行われました。

新緑が輝き、お山も青々と生気漲る十八日先ずは、一ノ鎖と二ノ鎖に足置きの金具を設置しながら、平岡常務総代を始め二十二名が、石鎚山頂上社午後五時の夕拝神事に間に合うように参集。

夕拝にて修祓を受け、皆で大祓詞を斉唱し神事終了後、平岡常務総代より今回の『御神像奉持習礼』の趣旨説明があり、沢山の方々が石鎚山に

登拜される上で、御神像奉持の重大さとこれからの在り方を考え、今後この奉持習礼に参加していただいた皆様を中心となつて御神像奉持を盛り上げていただき、先達一人が友達や家族知り合いのどなたでも一人を連れて登拜頂き、お山開き大祭に賑わいを見せていただきたいと話があり、その後頂上山荘にて夕食をとりながら懇親がはかられ、信頼と団結心を深めながら頂上よりの夕陽や夜景を堪能し就寝しました。

翌十九日朝は、頂上社にて朝拝神事・御神像拝戴神事斎行後、朝食をとり午前七時十五分より、習礼を執り行いました。

先ずは、柔軟体操後備後崇敬組合蔵王教会教会長深川健二元老大顧問・神鏡笏に御神像奉持の流れや鎖場での注意事項をお話し頂いて、三ノ鎖下りへ足置きの金具を設置後、三ノ鎖場での御神像リュックを背負つての登り下りの実践に全員が参加して体験して頂きました。

終了後頂上社御本殿前にて神恩感謝の拝礼をし、習礼を終了しました。

今回は、三年に一度、久しぶりの頂上社にての開催(二年は本社)で、一二三の下りの鎖に、登拜者が安全に鎖を

下る事が出来る様にと、深川健二教会長のお世話により、参加者全員の協力のお蔭で五十個の足場の金具を取付けることが出来、有意義な講習会となりました。



今後、お山開き大祭での参加は勿論、この体験を生かして組合の中心となり多くの信徒をお山開き大祭へお導き頂きますことを念願し、参加者のご健康とご多幸を祈念して報告いたします。

(追伸)
来年、再来年は、本社にて御神像奉持習礼をする予定です。沢山の方のご参加をお待ちしております。

参加者 梶宜 大岡 記

《中予崇敬組合》

- 宮田 尚樹元老顧問
- 佐伯 隆典元老
- 定井 暢男名誉部長

《備後崇敬組合》

- 深川 健二神鏡笏
- 森井 智子特別大監長
- 石橋 茂樹副大監長
- 大元 圭介副取締
- ヴォ・ヴァン・タイン副取締
- ファム・ヴァン・ヴァー副取締
- ファム・ヴァン・ヴィン

《本社》

- 平岡 明神鏡笏
- 大岡 忠徳 田窪 芳弘
- (順不同・敬称略)

- 佐伯 直哉副取締
- 渡部 浩二副取締
- 松波 賢一 濱田 隼人
- 細川 英世 金子 正眞
- 大野 和由 山本 良成
- 佐藤 望



恵良山眞事教会 創立七十五周年 奉祝大祭盛大に挙行!

井上忠史 教会長 権少教正



五月晴れの素晴らしい陽光を頂き、若葉が萌える霊峰石鎚山を遥かに拝みながら、松山市下難波甲に御鎮座致します恵良山眞事教会(井上忠史教会長)が創立七十五周年の慶賀を迎えました。地元の参拝者を始め多くの方が参列し、厳粛且つ盛大な奉祝大祭が、斎行されました。



井上忠史教会長
祝詞奏上

祭典に於きまして、祭員皆様の丁寧な作法と凛とした所作に頼もしさを感じさせて頂きました。

また七十五年に及ぶ教会の歴史は、井上忠史教会長の祝詞にて、初代教会長篠原重裕先生が、昭和二十四年に石鎚大神を勧請し、翌二十五年社殿を改築し、昭和二十六年に恵良山頂に御鎖を取り付け、昭和三十七年に教会社殿が焼失するも信徒の皆様の御浄財により昭和五十四年社殿を新築し御神像を遷し、厳粛に祭典を齋行し現在に至ると奏上されていきました。七十五年間も神事が途絶える事無く、更に現教会長井上忠史先生が大切に守られ、信徒の皆様方との間に信頼関係をしっかりと築かれておられます実情を鑑みますと、神縁・人縁の繋がりの素晴らしさを再認識させて頂きました。

また常日頃より大神様へ誠心を尽し、日々弛むことなくご奉仕をされておられます井上忠史先生を始め、教会を支えられておられます皆様方、ご奉仕の方々の敬神崇祖の篤き心を改めて深く確信させて頂き、盛大な祭典も終始恙なく終了致しました。

祭典終了後、武智宮司より井上忠史教会長の功績を称え、感謝状が授与されました。また、先達昇進の辞令も発令され、常日頃より教会にご尽力される皆様方に感謝状が授与されました事も併せてお伝え致します。



教会 御神前



教会長 感謝状授与



達先男幸見
受笏拜金

最後になりますが、井上忠史教会長を扇の要に、今後も更なる教会の御発展に尽力なされ、恵良山眞事教会を支えられる方々が石鎚大神様の御神意に添い、今まで以上にご健康で、日々ご活躍されますことを心よりご祈念申し上げます。皆様方に御報告申し上げます。

記 山崎

感謝状

教会長

井上 忠史 権少教正

信徒代表

篠原 幸子 副監長

辞令

先達

最高功労章金笏
重見 幸男 元老大顧問
大教正

有功神鏡笏
伊藤 佳次 元老大顧問

順不同・敬称略

愛媛県

神愛教会

三十周年大祭斎行

監長
権中教正
柳川 典子 教会長



去る五月二十六日、心地よい春風の吹く中、愛媛県松山市久谷町に鎮座いたします神愛教会に於きまして創立三十周年の奉祝大祭が斎行されました。



当日は地元より塩崎彰久衆議院議員・厚生労働大臣政務官(秘書代理参拝)、菊池伸英愛媛県議会議員、原俊司松山市議会議員を始め中予崇敬組合管内関係者、また、近隣の信徒の方々等多数集い、本社からは十亀権宮司、高岡権禰宜が出向し賑やかに祭典が執り行われました。



当教会は高木明先生、オイスン先生が中心となり、平成六年九月に神愛遙拝所として開所され、平成十三年五月に神愛教会へと昇格、平成二十六年五月には教会等級三等に列格され現在に至ります。

柳川典子教会長はご両親であります高木先生夫妻の意志を継がれ平成二十一年より三代目の長として信徒を導いておられます。

祭儀では馴染みの深い方々が参列に來られ、緊張感高まる中、厳粛に式が斎行され、直会では、皆がそれぞれに寄り合い、気さくで明るく温かい心根を持たれた教会長さんの人柄と同じく、楽しく活気ある時間を過ごすことが出来ました。



今後も教会に関わります皆様のご健勝、ご多幸であります様、また、大神様の恩恵を受ければ、神の御心と人の思いが繋がり、教会が弥益々に栄えられます様お祈り申し上げます。

記 高岡

感謝状

(順不同・敬称略)

柳川 典子
大久保 洋子
沖本 雪乃



獄山遥拝所創立四十五周年
 復興十周年奉祝大祭 齋行
 五月二十六日

特選部長
 権大講義

富永清光 遥拝所長



愛媛県大洲市中津の里に鎮ま
 ります獄山遥拝所が本年、創立
 四十五周年・復興十周年の奉祝
 の年を迎えられ、令和六年五月
 二十六日を吉日とし奉祝記念の
 大祭が斎行されました。

本社より、武智宮司管長を始め、権禰宜勝本、篠塚巫女、岩本
 本役員、沖野常務総代、吉田名
 譽顧問が出席し、共に御祭典に
 御奉仕させて頂きました。

当日は本年最初の台風の影響
 を懸念する予報の中で、澄み渡
 る晴天を賜り、前日より遥拝所
 役員の方々が事前準備に励ま
 れ、元の遥拝所の建物下に設け



られた齋場は整えられた御神前
 は元より、随所に真心のこもつ
 た飾り付けがあり、遥拝所の皆
 様方のもてなしの心が表れてい
 ました。

齋場に吹き抜ける風の清々し
 さと、頂上の御社からの悠か山
 並みの素晴らしい眺めに心清め
 られ、御奉仕させて頂く事が叶
 いました。

富永清光遥拝所長を始め遥拝
 所祭員の皆様は、此度の奉祝大

祭齋行にあたり事前の習礼に努
 められ、御祭儀齋行前の確認に
 も余念なく、誠心を込めて只々
 一心に御奉仕されておられました。



遥拝所長、本社宮司共に、遥
 拝所創立四十五周年、また復興
 より十周年の節目を迎えし目出
 度き祝いの言魂と、此より将来
 の遥拝所の繁栄を祈る祝詞を奏
 上され、参列者全員がそれぞれ
 に祈りを込めた玉串を奉奠され
 ていました。

一時遥拝所の運営も休止した
 歴史の中で、再び獄山遥拝所の



祈りの灯火を灯そうと、富永
 遥拝所長を始め、役員・信徒
 の皆様が奮起し、心一つに尽
 力され、その努力が実り早十
 年の年月が流れました。

遥拝所復興という大業に関
 わった役員皆様方は元より、
 現在遥拝所の維持運営に関わ
 る方々、また物心両面にて支
 えられる信徒の方々からの浄
 財に依って今日の遥拝所が在
 ることを、遥拝所長謝辞の中
 で仰られ、胸に去来する想いと
 共に感謝の言葉を述べられ
 ました。



その場に共に在る皆様が、感謝の言葉に耳を傾け、共に石鎚大神に感謝と祈りを捧げる素晴らしい時間となりました。

祭典終了の後には、御神像拝戴神事が斎行され、参列された多くの方々が大神様の御神徳を戴こうと長い列を作られていました。



直会にては、神前に掲げられた言葉の通り、「神様と共に楽しみましょう」の言葉を体現し、皆和やかに時間を過ごさせていただきました。

直会に併せて、愛媛県無形文化財である「山鳥坂神楽」の奉納も賑やかに執り行われ、周年



の大祭は賑々しく麗しく結ぶことが出来ました。

本年、嶽山遥拝所創立四十五周年、復興十周年の節目の年に御奉仕させて頂きました御縁に感謝申し上げますと共に、此より将来の遥拝所の弥益々の繁栄、ご関係各位の皆様方のご隆昌とご健勝を祈念しつつ御報告とさせていただきます。



【感謝状贈呈】

遥拝所長 富永 清光
食うチャン食堂

嶽山遥拝所 古野 光子
梶川 吉彦

” ” ” 大森 廣幸
河野 美治
神井恵一郎

【神社先達昇進】

特選部長 富永 清光
大取締 寺岡 勝信
大取締 富永 幸男

【本教教師昇進】

権大訓導 山下 光幸
権少講義 中岡 博

(順不同・敬称略)

記 権彌宜 勝本



令和六年度
東予崇敬組合協議員会
開催

組合長 藤本敏男

元老
少教正



五月二十八日(火)、東予崇敬組合協議員会が美馬市の協町遙拝所にて執り行われました。

本社出向

武智宮司

十亀権彌宜

平岡常務総代

会議では、昨年度の事業・決算・監査報告・本年度の事業計画・予算案等が話し合わせ、すべて承認されました。

更に、本年度のお山開き大祭については、一日の御神像捧持は平成生まれの若い人たちを集めてご奉仕をお願いしたい、

昨年の登山切符の名簿などを活用し本年も来ていただけるように案内を送るなど、組合大祭については、十一月下旬に協町遙拝所にて行うことが決まり、地方祭式講習会も組合主導で行い、教師の育成をしていきたい、などの前向きな意見が交換されました。

また、組合役員の任期についても令和五年から四年間、新監事・新協議員も加わる中に、組合規則に則り、様々協議話し合いを行い組合活動を行うことが再確認されました。



今後も東予崇敬組合の益々のご発展と、組合管内の関係各位のご健勝を祈念し、ご報告と致します。

記 権彌宜 十亀

音霊の祈り

〔太鼓は音霊〕

各祭典で石鎚流開式太鼓、御神像拝戴太鼓、閉式太鼓、石鎚流太鼓をやってみませんか？これまで受講経験のない方も大丈夫です。志ある方のお申し込みをお待ちしております。また、実際に祭典にて太鼓を打たれている方も、より一層の技術向上を目指しましょう。左記日時にて執り行いますので、数多くのご参加をお待ちしております。

記

〔日時〕

八月二十四日(土)

午前八時

受付

八月二十五日(日)

正午

解散

〔駐車場〕

第1駐車場入り口の向かい側緩やかな坂を登った青色の建物周辺へ駐車下さい。

〔持参品〕

白衣・白袴・足袋・笄・筆記用具・洗面用具・着替え等

〔参加資格〕

先達会符取得者

〔受講料〕 一万円

(令和六年) 第四十六回
石鎚流 太鼓打ち方講習会

・前泊は、基本的に県外の方対象です。

〔申込締切日〕

八月八日(木)

◎開閉式太鼓・御開帳太鼓

(※御開帳太鼓は開閉式太鼓を三回以上受講した人が対象)

◎二日目には太鼓打ち上げ奉納を神社会館三階にて行います。

◎各崇敬組合・教会・遙拝所を通じてお申し込み下さい。

開閉式太鼓とは：

祭典の最初と最後に打つ太鼓

御開帳太鼓とは：

石鎚神社特殊神事である御神像拝戴時に打つ太鼓



第45回石鎚流太鼓打ち方講習会

第五十四回 霊峰石鎚山 三十六王子社巡拝 並びに納め札奉納

全行程徒歩にて巡拝可能な方を募集、現在定員二十名を予定!

一、参加者は必ず、二組以上の「祈願納め札」奉納のお世話をお願いします。

役行者によって開山されて以来、数多の修験者によって祈りを捧げられてきた三十六王子社巡拝行。石鎚神社・石鎚本教・教会聯合会では、石鎚山三十六王子社の顕彰事業として、巡拝と祈願納め札の奉納を行います。左記要領(三泊四日)にて行います。

※簡易アイゼンは本社にて、千二百円で頒布しています。

《三十六王子社祈願納め札 奉納申込要領》

一、納め札一組(三十六枚 金五千円也) 希望者は、住所・氏名を申し込み用紙に書いて九月十五日までにお申し出下さい。

一、納め札一組(三十六枚 金五千円也) 希望者は、住所・氏名を申し込み用紙に書いて九月十五日までにお申し出下さい。

《令和六年 三十六王子社巡拝要領》

〔本社集合〕 十月二十四日(木) 午前七時

〔本社解散予定〕 十月二十七日(日) 午後六時

- 一、会 費 一人 金三万五千円也
- 一、持 参 品 洗面具・雨衣・防寒具・簡易アイゼン・着替え・ライト・各自薬・その他登山装備

- 一、申込期限 九月末日
 - 一、定 員 二十名(予定)
- ※世情を鑑みて開催内容の変更並びに人数の増減を行う場合がございます。ご了承承お願い致します。

一、教会遙拝所所属の方は、各所属の長を通してお申し込み下さい。

※個人で参加ご希望の方は、お知らせの長を通してご希望の方は、お知らせの紹介にて、参加下さい。

◎記入済みの「納め札」は十月十日必着するようお願い致します。(本社宛)

◎お申し込みは、一人で何組でも結構ですが、連名の場合一組二名以内です。

◎納札奉納祈願申し込みの各位には、巡拝後「三十六王子社守」を、お世話人を通じ、あるいは各位に送付申し上げます。

※お問い合わせ 曾我部
TEL 〇八九七(五五) 四〇四四

(納め札)

霊峰石鎚山 三十六王子社巡拝

祈願記入日 年 月 日

第三十六番 天狗嶽王子社大前祈願

願主 才

願意



(縦 7cm × 横 3cm)

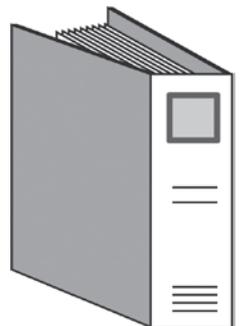


(三十六王子社 御守り)
令和六年よりデザイン変更

◆石鎚本教宗教法入教会各位

令和五年度 所轄庁提出書類

準備をお願いします。



例年、ご案内申し上げております所轄庁（都道府県）への書類提出が間近となつてまいりました。該当教会におかれましては、提出準備進行中のことと存じます。

今一度記入提出要項を左記によりご案内申し上げ、再度確認を御願ひ致します。

記

一、書類作成期間及び所轄庁への書類提出期限

◎石鎚本教の包括教会は規則上すべて、七月一日に会計年度が開始され、翌年六月三十日終了となります。書類は会計年度終了後三ヶ月以内に作成し、四ヶ月以内に提出の為

七月一日より九月三十日迄に作成し、
十月三十一日迄に提出となります。

◇書類は一度本社にご送付いただき、確認後返送いたします。確認の時間などを考慮しますと九月末頃にはご送付いただきましたくお願い致します。

◇送付いただきました書類は本社の方でとりまとめ、各都道府県の担当課へ転送いたします。

◆記入上の注意◆

書類はすべて複写式になっています。カーボン紙を使用して記入すれば同時に教会の控えができるようになっていきます。記入できましたら切り取らずにそのまま送りいただければ結構です。尚、記入は一冊のみです。残りは次年度用に保存下さい。

尚、提出書類の不足により書式が必要な方は本教宗教局までご連絡をお願いします。

(提出書類送付先)

〒七九三―八五五五

愛媛県西条市西田甲七九七

石 鎚 本 教 宗 教 局

曾我部 洋輔

電 話〇八九七―五五―四〇四四

F A X〇八九七―五五―七二四二

第十回 お宮で文化祭 並びに 第四回いしづち奉納泣き相撲 盛大に開催

去る五月六日、石鎚神社
本社本殿前にて「第十回お
宮で文化祭」並びに「第四
回いしづち奉納泣き相撲」
が開催されました。



成長できるように家族そ
ろつて石鎚大神様の大前で
お祓いを受け、力士に抱つ
こされた赤ちゃんの無病息
災を祈念するものです。

本年は西予市出身の片男
波親方、片男波部屋より前
頭九枚目玉鷲関、十両九枚
目玉正鳳関にお越し頂きま
した。

この、いしづち奉納泣き
相撲は昔から「泣く子は育
つ」と言われるように、赤
ちゃん「泣く事」で心肺
機能が発達し、体が元気に
なっていくきます。また赤
ちゃんの泣き声は邪気を祓
い、幸せを招くとも言わ
れ、若竹の如くスクスクと

当日は生後六ヶ月から二
歳までの約百十名の豆力士
とご両親含め約七百名の方
が訪れ、午前、午後に分
別、本殿で祈祷、その後本
殿向拝に作られた土俵にて
お相撲さんに抱っこされ、
大きな泣き声を境内に響か
せました。南海放送プレゼ
ンター藤田晴彦さんの司会
にて暴れ泣きや泣き落とし
等の決まり手を告げ、特別
審査員の片男波親方が時々
物言いなど和気藹々とした
雰囲気で行進、参加した豆
力士達は事前に四股名を考

えて頂き、そのユニークさ
や、泣きっぷり、あばれつ
ぷりを採点、横綱、大関、
関脇、小結等の順位を表彰
式にて発表、協賛頂きまし
たお米等の景品を受け取
り、参加頂いた皆様の笑顔
の絶えない一日となりました。



本年のお宮で文化祭、い
しづち奉納泣き相撲は泣き
相撲実行委員会の皆様、協
賛頂きました各社様、ご協

力頂きました皆様方のお陰
を持ちまして無事滞りなく
終えることが出来ました。
紙面を借りて御礼申し上げ
ます。

来年も「第十一回お宮で
文化祭」「第五回いしづち
奉納泣き相撲」を開催の予
定です。たくさんの豆力士
の参加をお待ち申し上げご
報告とさせていただきます。

権瀬宜 曾我部洋輔



成就社 八大龍王社例大祭 ご案内

・日時 八月八日(木) 午前十一時

祈願木お焚き上げ

大祓詞・般若心経 奉読

・祈願木は成就社・本社にて一本三百円にて頒布しております。



例大祭ご参列の方に、八大龍王社の例大祭当日のみの御神札を授与しております。盛大な祭典となりますよう、多くの方のご参拝をお待ちしております。

新入職員

出仕 堀川 正人



此度、五月一日より石鎚神社に出仕として奉職させていただきますことになりました。三月までは、神社とは無関係な神奈川県で、乗馬クラブのインストラクターの仕事をしていたので一から常識や知識を勉強している段階で、皆様に御迷惑をかけることも多々あると思います。それでも、石鎚神社の皆様にあたたかく迎え入れていただきまして誠に感謝すると共にご期待に添えるべく懸命に奉仕していく所存です。これから、何卒よろしくお願いたします。

退職職員

巫女 小西葉留華



この度四月末日をもちまして退職させていただきましたこととなりました。三年間の奉職の間職員の方々をはじめ皆様には大変お世話になりました。

石鎚神社では数多くのご縁と礼儀、作法また自分自身の成長につながるご指導を賜りました。この場所で学ばさせていただいたことを、忘れず一日を大切に生活していこうと思います。石鎚大神様の前でご奉仕させて頂いたこと貴重な経験となりました。本来にありがとうございました。皆様のご健康とご多幸、石鎚神社の御発展を心よりお祈り申し上げ退職のご挨拶とさせていただきます。

暑中お見舞い
申し上げます。

本社・本教 職員一同
名誉宮司・名誉管長

宮司・管長 武智 正人
権宮司・宗務局長 十亀 博行
権宜・宗務局次長 佐々木 規人
彌宜 大岡 忠徳
筆頭権彌宜 十亀 雅史
土小屋遙拝殿主任 高岡 健
成就社主任 山崎 浩司
権彌宜 玉井 安胤

出仕 堀川 正人
巫女 篠塚 菜乃羽
會計長 伊藤 正彦
会館事務長 荒井 健文
会館・山荘主任 人見 義一
岩本 昌美
西岡 直子
片岡 恵
松下 泉美
高橋 季容
野村 綾奈
渡部 由香
松木 妙子
片川 真宏
宝利 竜也

会館・山荘

石鎚神社・石鎚本教役員
常務総代・本教理事

平岡 照彦
湊 信一
岡村 和義
沖野 一善
田窪 貴文
高橋 亨
十亀 省司
藤原 拓
高橋 省司
伊藤 一
加藤 法泰
岡本 嘉孝
山中 將史

本教理事

監査

崇敬組合長・教区長

東予 藤本 敏男
西条・周桑 佐伯 義明
今治・越智 小林 敏朗
中予 山本 眞理子
上浮穴 坪内 康治
南予 山内 孝文
高知 出原 真司
安芸 三吉 和史
東洋大心 石田 善久
備後 加藤 法泰
山口 梶原 倫悟
福岡 田島 大悟
大分 川西 久美

名誉顧問

神社・本教 参与

伊藤 光貞
吉田 幸宏
下川 栄市
澁谷 正俊
渡邊 博毅
眞木 高年
岡本 行成
菅 三十四
重見 幸男
西原 和男
永井 功久
岡中 久
梶川 吉彦
坂本 登
岡本 昇
河村 英樹
村井 宗幸
安岡 桂一郎
江藤 秀人
木村 稔
平松 史
浦松 傳

宮司推薦総代・本教評議員

榎並 好美
日高 智美
水口 俊英
澁谷 誠
横林 強八
浦松 強
平松 廣志
岩本 廣志
田窪 一善
黒瀬 貴久
秋山 一幸

石鎚本教評議員

入江 伸明
羽藤 繁雄
坪内 統

(西田自治会長)

豊友会

会長 勝本 房利
副会長 三吉 真司
川ノ上 和彦

石鎚本教 教会聯合会

会長 佐伯 良子
副会長 湊 喜美子
江藤 秀人
深川 健二

敬神婦人会

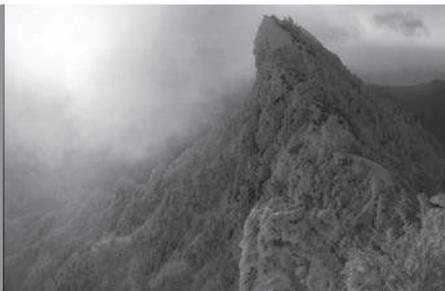
会長 岡本 加代子
副会長 江藤 ます子
平松 京子
島本 貴代

青年部

会長 宇佐 つかむ
副会長 寺川 卓
日野 太陽

令和六年七月一日現在
順不同敬称略

『石鎚山環境保全応援団』 加入（ご寄付）のお願い



石鎚山が快適に登山できるのは、みなさまのご協力のおかげです

石鎚山二の鎖下「石鎚山公衆トイレ休憩所」の維持管理や、石鎚登山道（土小屋ルート）の修繕は、3つの収入によって適切に実施しています。

- 市町村の負担金
- トイレ利用協力金（トイレチップ）
- 企業・団体や個人からの寄付金

そのうち、協力金や寄付金が
7割を占めています！

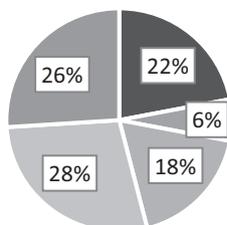


（トイレ施設の壁面を塗替）



（登山道を修繕）

維持管理費用の構成比



- 清掃・設備点検費
- 普及広報費
- 登山道整備費
- 修繕積立費
※トイレ施設の壁面塗替、汚泥汲取りなど
- その他（備品購入など）

■石鎚山クリーンアップ協議会
令和6年度予算案参照

適切な管理・修繕には、
年間500万円以上の
維持管理費が必要です

もし維持管理費がなくなると…？

寄付金は年々減少傾向にあり、もし維持管理費がなくなると以下のような問題が発生します。

- 壁面の塗替ができず、色落ち、カビが発生する
- 清掃回数が減り、ゴミや汚れが散乱する
- トイレの劣化が加速し、使用禁止箇所が増える
- 登山道の修繕ができず、閉鎖される可能性も…



壁面の劣化やカビ



登山道が朽ち、
通行不能に

『石鎚山環境保全応援団』の申込（寄付）は、

（年間）1口3万円（企業・団体） 1口1万円（個人）

から募集しています。

お申込みは下記事務局へ連絡いただくか、右のQRコードからお申込みください。

※加入者にはトイレクーポン（12枚綴り）を返礼いたします



（申込フォームへ）

【石鎚山クリーンアップ協議会 事務局】

- | | | |
|-----------|----------|------------------|
| ○ 西条市役所 | 観光振興課 | TEL：0897-52-1690 |
| ○ 久万高原町役場 | まちづくり戦略課 | TEL：0892-21-1111 |
| ○ 愛媛県庁 | 自然保護課 | TEL：089-912-2366 |

みなさまのご協力を、
心よりお願い申し上げます

石鎚山環境保全応援団 (五十音順)

石鎚山公衆トイレ休憩所(石鎚山二の鎖下)は、
市町負担金、利用協力金のほか、「石鎚山環境保全応援団」
への参画(寄付)によって維持管理がされています。



【令和5年度石鎚山環境保全応援団 (五十音順)】

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ●石鎚山系レクリエーションの森保護
管理協議会 | ●株式会社フジ |
| ●いしづち森林組合 | ●株式会社富士造型 |
| ●石鎚登山ロープウェイ株式会社 | ●株式会社プライサー |
| ●井関農機株式会社 | ●株式会社程野商店 |
| ●一般社団法人久万高原町観光協会 | ●株式会社松山パーク |
| ●一般社団法人西条市観光物産協会 | ●株式会社ヤングドライ新居浜 |
| ●伊予鉄バス株式会社 | ●株式会社米北測量設計事務所 |
| ●宇和島自動車株式会社 | ●久万広域森林組合 |
| ●愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟 | ●久万高原町商工会 |
| ●愛媛県森林組合連合会 | ●公益社団法人愛媛県浄化槽協会 |
| ●愛媛三段ブロック株式会社 | ●公益社団法人山のボランティア Network |
| ●愛媛信用金庫 | ●西条商工会議所 |
| ●愛媛建物株式会社 | ●四国通建株式会社 |
| ●面河溪を愛する会 | ●宗教法人石鎚神社 |
| ●株式会社アイ・エヌ・エス | ●太陽石油株式会社 |
| ●株式会社井関松山製造所 | ●大王製紙株式会社 |
| ●株式会社伊予銀行 | ●東予信用金庫 |
| ●株式会社エイト日本技術開発四国支社 | ●熟田津山岳倶楽部 |
| ●株式会社愛媛銀行 | ●伯方塩業株式会社 |
| ●株式会社愛媛新聞旅行 | ●萩野鉄店有限会社 |
| ●株式会社ダイキアクシス | ●ヒーリングセオリー |
| ●株式会社田窪工業所 | ●星企画株式会社 |
| ●株式会社テレビ愛媛 | ●有限会社アウトドアーズコンパス |
| | ●その他個人によるご寄付のみなさま |

ご協力いただき、ありがとうございました。

【石鎚山環境保全応援団募集中】

石鎚山クリーンアップ協議会事務局では、石鎚山の自然環境保全に
賛同する企業・団体・個人を募集しています。

〈寄付(年間) … 1口3万円(団体)、1口1万円(個人)〉

申込みは、事務局までお問合せください。



(申込みはこちら)



【お問合せ】
石鎚山クリーンアップ協議会 事務局
西条市観光振興課 TEL:0897-52-1690
久万高原町まちづくり戦略課 TEL:0892-21-1111
愛媛県自然保護課 TEL:089-912-2366

NPO
法人

石鎚森の学校活動報告

※愛媛県ニホンジカ対策植生協議会 設立総会

【日時】 6年4月23日(火)
13時30分～14時30分

【場所】 愛媛県農林水産研究所 花き研究指導室 大研修室

【事務局】 愛媛県自然保護課

【参加会員】 愛媛県自然保護課、県生物多様性センター、県総合科学博物館、松山市、今治市、宇和島市、新居浜市、西条市、四国中央市、東温市、久万高原町、松野町、鬼北町、愛媛大学

社会共創学部、加計学園岡山理科大学獣医学部、愛媛植物研究会、NPO法人西条自然学校、NPO法人石鎚森の学校、愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟、面河溪を愛する会、えひめ森の案内人会、愛媛県勤労者山岳連盟、宇摩森林組合、いしづち森林組合、越智今治森林組合、松山流域森林組合、久万広域森林組合、南予森林組合、南宇和森林組合、環境省中国

四国地方環境事務所四国事務所、農林水産省林野庁四国森林管理局愛媛森林管理署、スタッフ等約50名

【事務局参加】 曾我部英司理事、十亀雅史事務局長、岩本昌美事務局スタッフ

標記会合が開催され、まず愛媛県全域に広げた協議会設立についての規約(案)、会長・副会長・監事選出がなされ、協議会が設立されました。次に会計処理規程、事務処理規程、内部監査実施規定の各規定を承認。その後、令和6年度事業計画(案)、部会の設置、令和6年度収支予算(案)について審議され、各議案についても承認されました。

当法人は「人材育成・普及啓発部会」に所属することになり、植生被害やシカ痕跡等モニタリング体制構築、人材育成、地域における生物多様性保全活動の推進に係る啓発

等を担当します。その中でも、年2回登山道を散策しながら動植物の観察やニホンジカによる植生被害について学ぶエコツアーを実施する事業計画となっております。



※令和6年度 第1回石鎚山系連携事業協議会

【日時】 5月13日(月)
13時30分～16時

【場所】 西条市役所本館5階大会議室

【事務局委員自治体】 西条市 越智副市長始め関係氏、上浮穴郡久万高原町佐藤副町長始め関係氏、高知県土佐郡大川村明坂副町長始め関係氏

【出席者】 高知大学次世代地域創造センター、(一社)西条市観光物産協会、(一社)久万高原町観光協会(オンライン)、(一社)いの町観光協会、西条商工会議所、(一社)仁淀ブルー観光協議会、(一社)大川村ふるさとむら公社、(株)石鎚観光、石鎚登山ロープウェイ(株)、四国開発フェリー(株)、NPO法人西条自然学校、NPO法人石鎚森の学校、面河溪を愛する会、山荘しらす、西条市サイクリング大会実行委員会、高知県サイクリング協会

【オブザーバー・行政】国土交通省四国運輸局観光部観光企画課、環境省四国事務所国立公園課（オンライン）、林野庁四国森林管理局計画保全部保全課（オンライン）、愛媛県県民環境部環境局自然保護課（オンライン）、愛媛県東予地方局商工観光室、高知県観光振興部地域観光課（オンライン）

【オブザーバー・民間】（株）伊予銀行地域創生部以上関係スタッフ等計約35名

【事務局参加】曾我部英司理事、十亀雅史事務局長、岩本昌美事務局スタッフ

標記会合が対面とオンラインにて開催されました。先ず本年持ち回りで事務局を務める西条市の越智副市長の会長挨拶、またメンバー各氏の自己紹介に始まり、議案審議へと入りました。

議事は、令和6年度以降の協議会費（一般会計）の取扱いについてとして、繰越金活用及び負担金支出についての報告



があり、議案第1号として一般会計における令和5年度事業報告及び収支決算報告（監査報告）の中で、企画情報分科会、サイクリング分科会、環境安全対策・登山分科会の各分科会より事業報告。議案第2号では特別会計における令和5年度事業報告及び決算報告（監査報告）の中で、デジタルプラットフォーム推進分科会より事業報告。次いで議案第3号（一般会計）第4号（特別会計）の令和6年度事業計画

（案）及び収支予算（案）、議案第5号の役員の改選についてそれぞれ審議可決承認されました。

その他として事務局より令和5年度石鎚山系公式WEBサイトアクセス解析の報告があり、最後に民間参加メンバーよりそれぞれ意見を聴取して閉会となりました。

※令和6年度 理事会・通常総会 開催

【日 時】 5月24日（金）

11時～12時20分

理事会・スタッフ会

13時～14時20分

通常総会

【場 所】 石鎚神社社務所2階会議室

【出席者】 理事会・スタッフ会理事・監事・事務局スタッフ計13名／委任状出席含む

通常総会 武智理事長、西海副理事長始め正会員51／59名委任状出席含む

恒例の標記会合が開催され、両会合ともに主な議題は、令

和5年度の事業報告及び決算報告、並びに監査報告、令和6年度の事業計画案審議となり、それぞれが可決承認されました。さらに本年は定款による任期満了、役員改選の年となっており、総会に於いて全理事、また監事の重任が可決。併せて理事の互選会に於いては、武智理事長と西海副理事長の正副理事長の重任も確定し総会に報告されました。

今後の事業活動について加藤理事より、成就や土子屋地域にアサギマダラが飛来するようにフジバカマ・ヒヨドリバナをプランターに植えて育ててみては、と提案があり、長いスパンで考えながら各所と相談しつつ事務局で検討を進める方針となり、曾我部理事よりはロープウェイ駅を起点に成就までガイドするシステムを旅行会社などと検討してはどうかなど、たくさんの人に石鎚へ来ていただきたい、良さが知っていただきたいという提案がなされました。

また、本年の石鎚山お山開き案内人の参加は300円からの活動協力金としていますが、熊野古道のガイド料や四国遍路の納経代等について情報共有があり、適正な料金と受け入れ体制の構築の検討・必要性が確認されました。

何はともあれ令和6年度は始まっていきます。今後の活動もより良いものとなるよう多くの皆さんと活動を共にしたいと考えています。そうなるように役員一同頑張っております。



※令和6年度 石鎚クリーンアップ協議会総会

【日時】5月29日(水)

10時～11時30分

【場所】県農林水産研究所・花き研究指導室2階大会議室／東温市

【会 員】宗教法法人石鎚神社、NPO法人石鎚山の学校、石鎚山系レクリエーションの森保護管理協議会、石鎚登山ロープウェイ(株)、愛媛県、愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟、愛媛大学山岳会、愛媛森林管理署、えひめ森の案内人会、面河溪を愛する会、久万高原町、久万高原町観光協会、久万高原町商工会、西条市、(二社)西条市観光物産協会、NPO法人西条自然学校、西条商工会議所、NPO法人山のボランティアNetwork、会員スタッフ関係者約25名出席

【役員等】会長／西条市佐竹浩 観光振興課長、副会長／久万高原町高木勉 まちづくり戦略課長、副会長／愛媛県山内重宣 自然保護課長、監事／峯本典寛 愛媛県山岳・スポーツク

ライミング連盟会長、監事／相田弘道 愛媛森林管理署総括 森林整備官

【事務局参加】曾我部英司 理事、十亀雅史 事務局長、岩本昌美 事務局スタッフ

表記の会合が開催され、会長挨拶の後、まず会則等の一部改正として協議会会則と会計処理規程について説明があり承認されました。

その後は、令和5年度事業報告・収支決算報告・石鎚山環境保全応援団加入状況・協力金等集金状況・監査報告について説明、次に令和6年度事業計画・収支予算(事業費内訳書)汚泥の状況今後の積立金について説明、すべて承認となり、協議事項で「石鎚山環境保全応援団」の取り組みや応援団の募集について参加会員からの意見を求め、会員からは応援団の名簿をロープウェイなどの待合所に貼って知ってもらうことも大事、各会社の会報などにも掲載しては、などの意見が話し合われ閉会となりました。

二の鎖元公衆トイレ設置より10年が経ち傷みも目立ち補修等が必要になってきます。トイレは応援団の方々、またトイレ使用時の協力金などで維持管理されています。応援する人たちが増えることを期待しつつ、会を後にしました。



※令和6年度 愛媛県石鎚山系エコツアーリズム推進協議会総会

【日時】5月29日(水)

13時～14時

【場所】県農林水産研究所・花き研究指導室2階大会議室／東温市

【会 員】石鎚山系エコツアーガイドクラブ・(株)ソラヤマ いしづち・名勝古岩屋を守り育てる会、石鎚山系レクリエーションの森保護管理協議会、石鎚登山ロープウェイ(株)、NPO法人石鎚森の学校、(株)エス・ピー・シー、(株)愛媛銀行、愛媛県信用農業組合連合会、えひめ森の案内人会、面河渓を愛する会、(一社)愛媛県観光物産協会、久万高原町、久万高原町商工会、西条市、(一社)西条市観光物産協会、西条商工会議所、(一社)をかしゃ、NPO法人山のボランティアNetwork、四国森林管理局愛媛森林管理署、東予地方局商工観光課、中予地方局総務県民課、(株)石鎚観光、(株)伊予銀行、愛媛県勤労者山岳連盟、愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟、愛媛大学山岳会、(株)愛媛旅行新聞、面河地区地域運営協議会、(株)近畿日本ツーリスト西日本仕入営業センター松山駐在、(一社)久万高原町観光協会、グッドリバー(株)、(一社)KUMAYAMA STORES、NPO法人西条自然学校、(株)JTJB

中国四国松山支店、四国旅客鉄道(株)ワープ松山支店、(株)農協観光愛媛支店、Bishop、OCHI(株)、(株)フジトラベルサービス、(株)Unique、(株)リクルートライフスタイル、愛媛県観光国際化、東予地方局総務県民課、中予地方局商工観光課

【新規会員】(株)あそぼや

【アドバイザー】(株)旅 tibirinto

【開催事務局】愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会(愛媛県自然保護課内)

【役員等】会長/愛媛県民環境部山内重宣自然保護課長、副会長/西条市産業経済部佐竹浩観光振興課課長、副会長/久万高原町高木勉まちづくり戦略課長、監事/峯本典寛愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟会長

【出席者】以上関係スタッフ、職員約30名

【事務局参加】曾我部英司理事、十亀雅史事務局長、岩本昌美事務局スタッフ

標記会合も午前の会合と同じ場所にて開催されました。

会議は、令和5年度の事業報告、収支決算、令和6年度の事業計画や収支予算、規約一部改定の審議等でしたが、それぞれに可決承認され、会員からはインバウンドのガイド方法、認定ガイドの経過年数後の更新など、これから考えていくべき事案について意見交換がなされ、閉会となりました。



文責 事務局長 十亀雅史

『石鎚山環境保全応援団』
加入(ご寄付)のお願い

石鎚山二の鎖元「石鎚山公衆トイレ休憩所」の維持管理や、石鎚登山道(土小屋ルート)の修繕は、3つの収入によって適切に実施しています。

- 市町村の負担金
- トイレ利用協力金

(トイレチップ)

- 企業・団体や個人からの寄付金

そのうち、協力金や寄付金が7割を占めています。

- 維持管理費が無くなると、壁面の塗替ができず、色落ち、カビが発生する
- 清掃回数が減り、ゴミや汚れが散乱する
- トイレの劣化が加速し、使用禁止箇所が増える
- 登山道の修繕ができず、閉鎖される可能性も・・・

石鎚山環境保全応援団に加入してみませんか?
御協力をお願いします。

お初穂奉納者

五万円以上ご奉納いただきました皆様

令和六年四月一日
令和六年五月末日

《本社》

◎参拾五万円

福岡神和教会 佐伯 良子

◎壹拾万円以上

北九州市 宮本 直
(順不同・敬称略)

真心のご浄財・ご奉納を賜りました皆様には、ご奉賛心より厚くお礼を申し上げます。
文責 権禰宜 大岡

提灯ご奉納者ご芳名

本社境内へ提灯献灯のご奉賛をいただきました皆様です。誠にありがとうございます。

令和六年二月一日
令和六年五月末日

西条市 たぬき本舗株式会社
森 達正

たぬき本舗株式会社

三木町

森 貴則
日笠 豊

西条市

(株)銅元 代子

多治見市

中田 道利

広島市

(二張) 田野下 浩

大島郡

繁山 秀子

大東市

小林 廣子

呉市

中原 隆彦

西条市

永田 千恵

今治市

稲田 勲

尾道市

美恵子 (二張)

西条市

松本 幸子

四国中央市

村上 一也

三原市

岩崎 明人

岩出市

高橋 孝直

大阪市

小林 保子

高野市

河村 行雄

千代子

川西市

上木 弘子

茨木市

小林 靖昌

芦屋市

(株)越智工務店 映花

豊中市

山野 拓也

豊中市

田中二三子

北九州市

田中 絢大

北九州市

田中 達雄

北九州市

和子

北九州市

(株)谷建工業 初治

北九州市

谷本 初治

北九州市

(株)東洋冷機 智也

北九州市

米澤 智也

北九州市

緒方 習

北九州市

ミカ

北九州市

(株)正建 涌波 正登

北九州市

(株)正建 谷中 純也

北九州市

(順不同・敬称略)

頂上社護持奉賛会 寄付者 芳名簿

令和 六年 三月 一日から
令和 六年 五月 末日まで
※五万円以上奉納者
(順不同・敬称略)

◆東予崇敬組合◆
壹百萬万円以上

満岡 勝子

◆今治越智崇敬組合◆
二拾七万円以上
新居田物産(株)

◆上浮穴崇敬組合◆
壹拾万円以上
坪内 続

真心のご浄財を賜りました皆様には、ご奉賛心より厚くお礼を申し上げます。尚、奉賛会は今後も継続しておりますので、ご協力をお願いいたします。

担当 大岡・岩本

石 鎚 社 報

〒七九三―八五五五
(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五―四〇四四 本社

五五―七二四二 FAX

五五―四二六八 会館

五五―七二八一 FAX

五九―〇二〇六 成就

五九―〇四〇八 FAX

五三―〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八〇―〇一八三六〇

【発行代表者】 武智 正人

【編集】 曾我部 洋輔

【印刷所】 プリ・キュウ・プレス

【購読料】 送料共 年五〇〇円

石鎚神社 で 検索